

2002 4/7

# 氷ノ山ブン回し登山

晴れ / 曇り / 雨



国際スキー場に着くとゲレンデはもの見事に春の形相で雪のかけらも無くフキノトウやツクシが咲き乱れている。ゲレンデを登り詰めると雪も出てきて流れ尾根稜線に着くとやはりまだまだ雪は多い。

チシマ笹も元気に雪解けから顔を出してきて進路を妨害してくれている。

しかしこの斜面はいつ来ても急勾配でよくこんなところをスキー担いで登ってくるものだと自分で感心する。

山頂下のトラバース手前でアイゼンを取り付けて急な斜面をピッケルを刺しながら楽しんで登り詰める。

9時過ぎに山頂着。今日はまだ誰とも出くわさない。スキーを持っていなかったら2時間で登頂である。

小休止したあと、北壁方面に向かうが、今日はロープとハーケンを持ってきているので甌岩からクライムダウンしようと思うが、甌岩の肌から多くのブッシュが顔を出している、これでは後のロープ回収が困難なのでやむなくそのまま降りることに(残念(^\_^;) )。

この残雪時にもっとも私が気に入ってところが、この甌岩から氷ノ山越え小屋までの稜線歩きである。

その途中で石野氏の山仲間の連れと出会う、なんと彼は氷ノ山越えからスキー担ぎで登ってきたと言っていた、今日は東尾根経由で下山するとのことであった。「昨年行った



残雪ある頃に一度は訪れたい氷ノ山のブン回し。

天候は晴れから曇りになり最後は雨になったが山スキーではないのでなんら苦にならなかった。

メンバーは石野氏と2人



「マッターホルンはよかったよー」、等と色々とおもしろい話を聞かせてくれた(金と暇があったら私も行きたい(^\_^))

氷ノ山越え小屋からはアイゼンを外し、快適に赤倉山をトラバースして(ほとんど雪無し)急なガレ場を登り下りして、大平頭小屋に到着。

この小屋には昨年泊まった時にプレートを設置していたのが片隅に置いてあった。ここでラーメンタイム。

ブナ林を抜けると目の前は鉢高原スキー場だが雪が全然ない。地図を見るとこの辺りから大久保へ抜ける登山道があるのでそれを探しつつ下山。この下山コースはブン回しの最短コースで板も外すことなく絶好の斜面である。杉林目指して滑降してコルに出ると120°に合わせてひたすら小さな稜線づたいに滑降して行く。林道のドン図まりで沢に降りてくる。

林道歩きの沢づたいで天然ワサビを摘み、お浸しにして夜の晩酌に添えました(^\_^)。

今年は雪も少なく残雪を楽しめるもの終わりに近いだろう。